

教 科 名	公民科	科 目 名	現代社会
講 座 名	科学倫理	使用教科書	高校現代社会(実教出版)
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・総合理学科
履修条件	1年生必修		
履修上の 留意事項			
授業形態	一斉授業		
学習方法	座学としての授業と授業ごとの時事問題についての発表、ディベートの実施・卒業生による講演		

講座内容

目 標	人間尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 ディベート実践を通じて、現代社会における問題を自ら発見・探求し、論理的に思考・議論し、発表する力を身につけさせ、総合理学の生徒としての力を高める。		
	授業計画	学習のねらい	評価の観点及び評価方法
1 学 期	第2編現代社会と人間としてのあり方生き方 第6章現代の経済社会と政府の役割 1経済社会の形成と変容 2市場の仕組み 3現代の企業 4経済成長と景気変動 5金融機関のはたらき 6政府の役割と財政・租税 5労働問題と雇用 6社会保障	現代国際社会を生きる上で、必要な宗教の概要について学ぶ。 現代社会における経済活動の理解を深める。	経済の仕組みが理解できているか。 定期考査で記述問題を実施し、理解力・考察力の度合いを評価する。 授業中においては、口頭の質問に対する答えを評価する。
2 学 期	ディベート基礎 ディベートの方法とミニディベート ディベート実践 四つのテーマの設定と実践 第4章日本国憲法と国民生活 1日本国憲法の成立 2平和主義と日本の安全 特編授業「科学倫理・医療倫理を考える」講演：武藤邦生氏（本校OG 神戸新聞報道部）	ディベートの実践を行い、現在、日本社会の抱えている課題と思考方法について学ぶ。 日本国憲法の精神並びに成立過程について学ぶ。日本の平和主義について、最近の動向を学ぶ。 講演において科学倫理・医療倫理の報道を通じ、科学者を目指す上で身につけて欲しい倫理観とは何かについて学ぶ。	国際経済の実情が理解できているか。 知識の理解力や考察が十分行えているか。 論理的な思考が行えているか。 チームとして協力できているか。 発表の方法や内容が適切であるか。 講演においては、アンケートを実施する。
3 学 期	クラス内ディベート・ディベート予選 第4章 日本国憲法と国民生活 3基本的人権の保障 4人権のひろがり 5人権保障と裁判所 6政治機構と国民生活 8選挙と政党	基本的人権について最近の動向を踏まえつつ学ぶ。 裁判所、国会、内閣の基本的なしくみを学ぶ。 18 才選挙権を受けて、選挙のしくみと社会参加について学ぶ	知識の理解や現実の社会の様相が理解できているか。